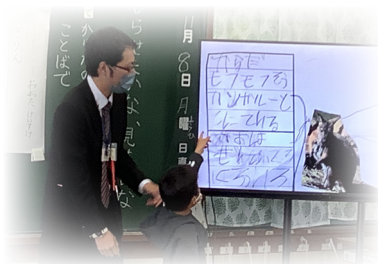


研究紀要

「主体的に取り組み、学びを深めることができる児童の育成」

～ICT機器の効果的な活用～



朝霞市立朝霞第九小学校

令和4年11月11日（金）



〒351-0003 埼玉県朝霞市台295番地

TEL 048(466)4481

FAX 048(467)4740

E-Mail 9shou@asaka-c.ed.jp

はじめに

あいさつ

朝霞市教育委員会教育長
二見 隆久



朝霞第九小学校におかれましては、令和3・4年度朝霞市教育委員会指定の研究開発学校として、「主体的に取り組み、学びを深めることができる児童の育成～ICT機器の効果的な活用～」を研究主題に定め、ICT機器を活用した授業を行うことで、児童の主体的・対話的で深い学びを実現するための研究に取り組まれました。この度、2年間の研究の成果を研究紀要としてまとめ、研究発表会を開催されますことに深く感謝申し上げます。

令和3年1月の中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』では、子供たちを支える伴走者である教師には、ICTも活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを充実し、子供たちの資質・能力を育成することが求められております。朝霞第九小学校では、タブレット端末・大型ディスプレイ等のICT機器を様々な場面で効果的に活用することで、「ICT機器を文房具のように使いながら自らの学習を調整し、学びを深めていく児童」を育成すべく研究を進めております。

本研究では、授業のねらいを明確にし、ICT機器を手立てとして児童の主体性を引き出し、学びを調整しながら深められるよう授業実践を積み重ねております。児童の学びの姿や研究資料から、ICT機器を活用することで指導の個別化が図られ、学習課題に向かって協働的に学んでいく様子をご覧いただければと思います。

朝霞第九小学校のこれまでの取組や研究の成果が、他の学校にも生かされ、本市の教育を発展させていく大きな力となることを期待しております。

結びに、これまで熱心にご指導いただきました川島町立中山小学校・鈴木和也校長先生、埼玉県立総合教育センター指導主事・丸山誠司様をはじめ、これまで御指導いただいた指導者の先生方、並びに御支援いただきました保護者・地域の皆様に厚く御礼申し上げます。また、本研究を意欲的に推進してこられました田中校長先生をはじめ、教職員の皆様に対して、感謝申し上げますとともに、朝霞第九小学校のますますの発展を祈念いたしまして、あいさつといたします。

ごあいさつ

朝霞市立朝霞第九小学校長
田中 誠



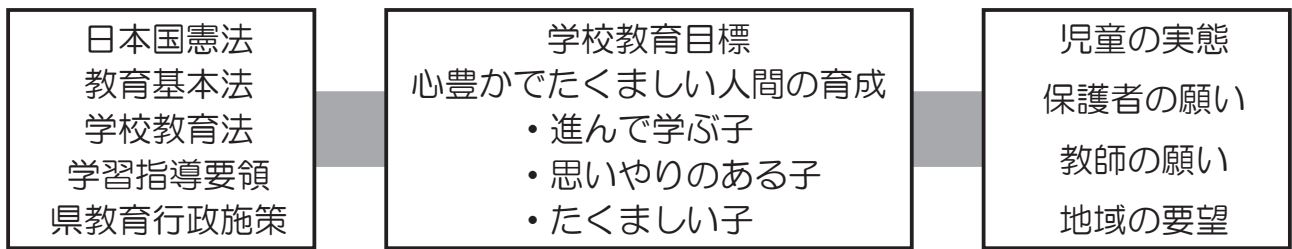
本校は、令和3・4年度朝霞市教育委員会研究開発学校の指定を受け、研究主題を「主体的に取り組み、学びを深めることができる児童の育成」～ICT機器の効果的な活用～として、各教科・領域で研究に取り組んできました。

現在、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。また、GIGAスクール構想により、令和3年度には児童・教員にタブレット端末が配付され、教育は歴史的転換点を迎えました。Society 5.0時代に生きる子供たちにとってこのタブレット端末は、鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとなるものです。こうした中で、新学習指導要領に基づき、資質・能力の3つの柱をバランスよく育成するため、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要であります。

本日の研究発表会は、低・中・高、3学年の授業公開、全体会における研究の概要説明、分科会における研究協議の3部構成としました。公開授業において研究成果を児童の活動から見ていただき、全体会において本研究の趣旨を掴んでいただきます。そして、分科会においてご参加の先生方による忌憚のないご協議をいただきます。分科会を通して本校の研究がさらに深まるとともに、ご参会の皆様明日からの授業に少しでも役立てていただければ幸いです。

結びに、本研究を進めるにあたりご指導いただきました埼玉県立総合教育センター教職員研修担当指導主事兼所員 丸山誠司様、川島町立中山小学校 鈴木和也校長、朝霞市教育委員会、保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。

研究の全体構想

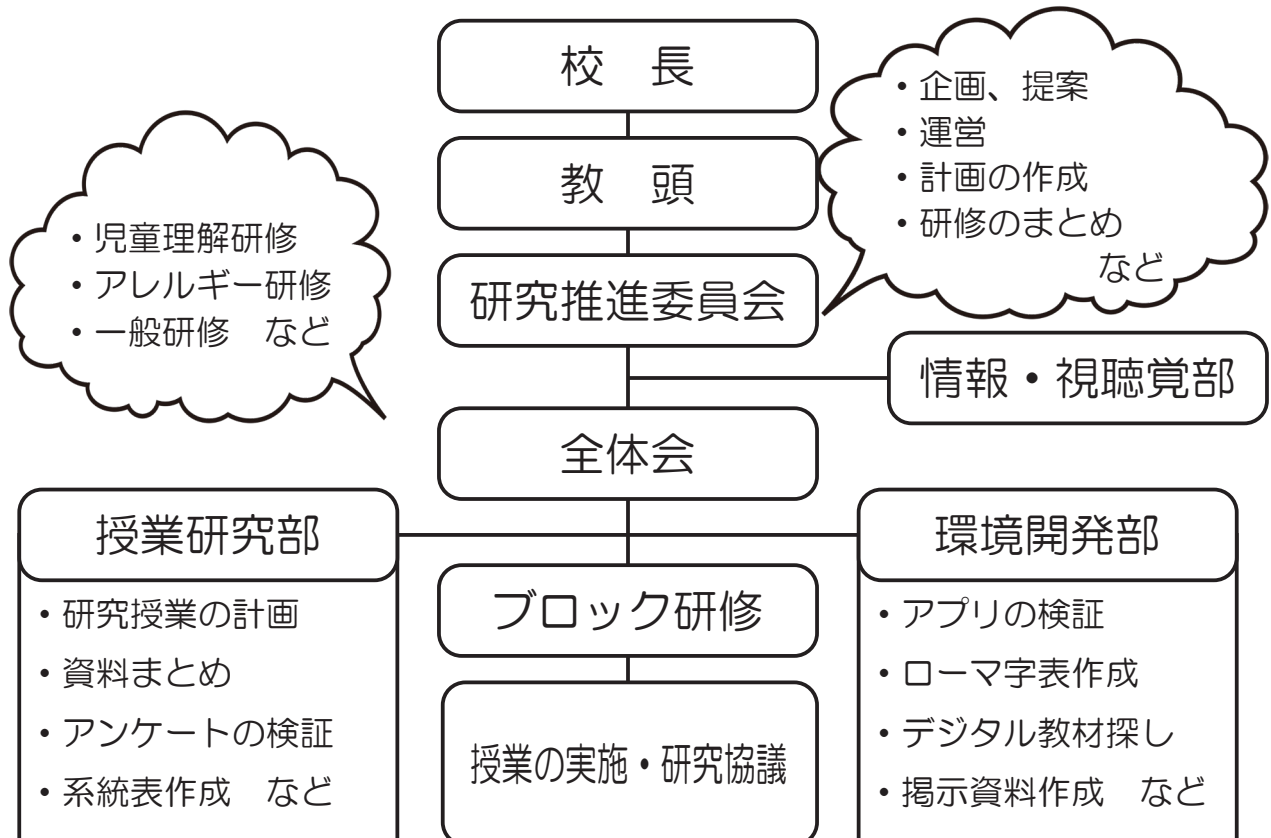


— 研究主題 —
「主体的に取り組み、学びを深めることができる児童の育成」
～ICT機器の効果的な活用～

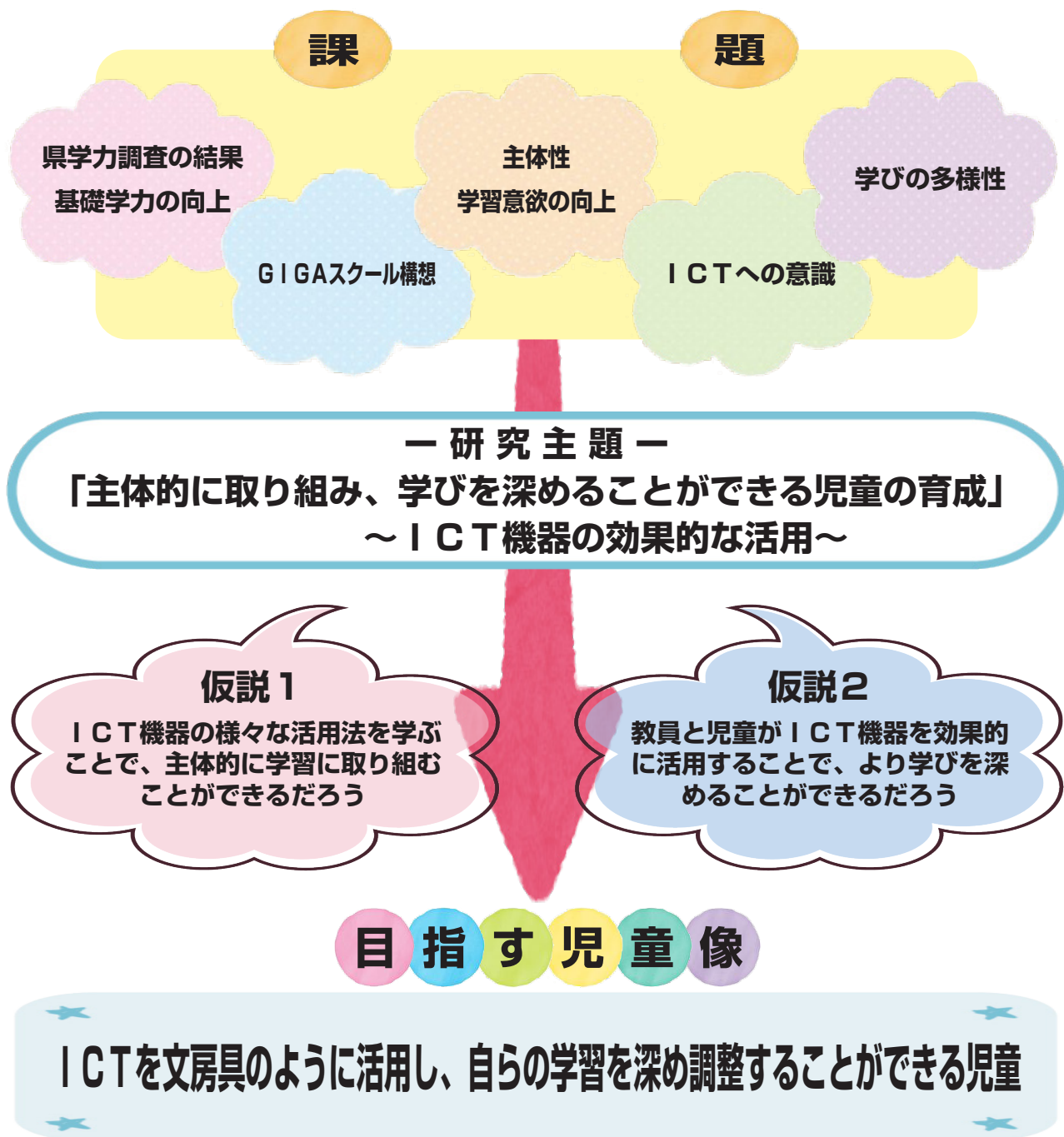
— 目指す児童像 —
ICTを文房具のように活用し、自らの学習を深め調整することができる児童

- 研究仮説 —
- (1) ICT機器の様々な活用法を学ぶことで、主体的に学習に取り組むことができるだろう。
 - (2) 教員と児童がICT機器を効果的に活用することで、より学びを深めることができるだろう。

研究組織



研究の概要

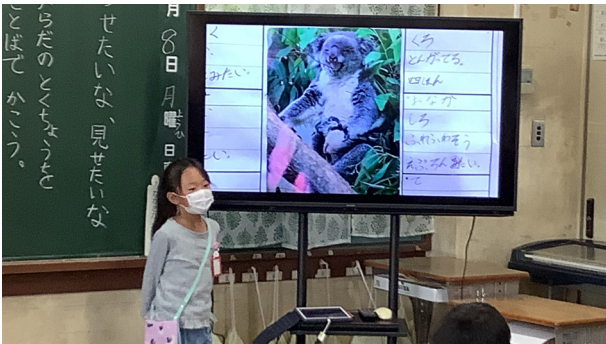


研究内容

- ・ ICT機器を活用することで、児童の学習意欲・学習理解を高められるようにする。
- ・ ICT機器を活用することで、自ら学習を振り返り、調整できるようにする。
- ・ 学習の楽しさやICT機器を活用する良さに気づき、よりよく問題解決しようとする態度を身に付けられるようにする。
- ・ 学んだことを生活や学習に活用できるようにする。
- ・ 教員が授業にICT機器を活用することができるようにする。

研究の取組

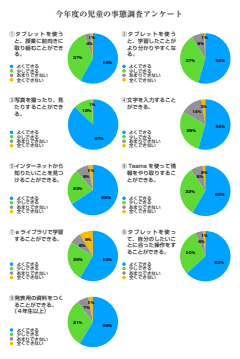
《授業研究部》



指導案形式作成 & 研究授業等計画

国語教育年次別計画			国語教育年次別計画		
1年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	1年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。
2年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	2年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。
3年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	3年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。
4年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	4年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。
5年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	5年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。
6年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	6年	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。	国語の基礎を身に付け、読解力、表現力を高める。

指導計画の立案



アンケートの作成 及び 考察



ICTを活用した学習の記録

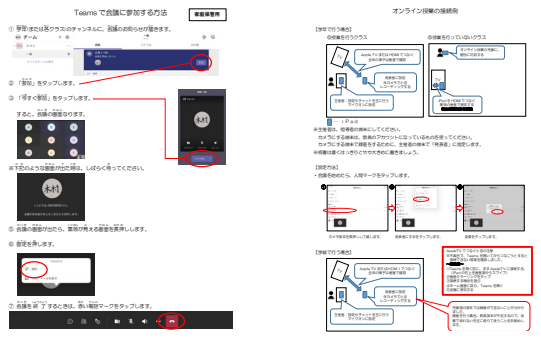
《環境開発部》



使用アプリの検討



掲示資料等作成



ICT機器の資料作成



タイピングの取組

研究の成果・課題

【成果】

- ・タブレットを活用して、主体的に学習に取り組む姿が見られるようになった。
- ・自らの判断でタブレットを活用することができるようになった。
- ・活動場面に応じて必要なアプリケーションを活用することができるようになった。
- ・児童も教員も、当たり前のようにICT機器を活用することができるようになった。

【課題】

- ・文字の入力に、個人差がある。
- ・ルールが守れない児童や管理の仕方に問題のある児童がいるなど、ルールの検討が必要。
- ・端末やアプリにエラーやトラブルがあった時の対処方法を周知・共有する。

おわりに

目指す児童像にある「ICTを文房具のように活用」することは、現代の児童にはある意味容易なのかもしれません。2年間の本研究を振り返ると、「習うより慣れる」を地で行く児童の姿には、目を見張るものがあります。

そこで、重要なのは「主体的に取り組み、学びを深めること」です。この具現化を目指し、教職員が一丸となって研修を繰り返し、指導法の工夫と改善を模索してまいりました。いかがだったでしょうか。ご参会の皆様今後の学習指導の一助となれば幸いです。

本発表会をゴールではなくスタートとして、教職員一同更なる指導力向上に邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を頂戴しますようお願い申し上げます。

結びにあたり、これまでご指導を賜りました、埼玉県立総合教育センター教職員研修担当指導主事兼所員 丸山 誠司 様、川島町立中山小学校長 鈴木 和也 様、朝霞市教育委員会の諸先生方をはじめ指導者の皆様に心より感謝申し上げます。

教頭 田口 寛人

御指導いただいた先生方

【令和4年度】

埼玉県立総合教育センター教職員研修担当指導主事兼所員	丸山 誠司 様
朝霞市教育委員会教育長	二見 隆久 様
朝霞市教育委員会学校教育部長	野口 邦彦 様
朝霞市教育委員会学校教育指導課長	松本 欣巳 様
朝霞市教育委員会学校教育指導課指導主事	川村 巖 様
朝霞市教育委員会学校教育指導課指導主事	蛭原 康平 様
朝霞市教育委員会学校教育指導課指導主事	遊馬 嘉和 様

【令和3年度】

川島町立中山小学校長（元埼玉県立総合教育センター主任指導主事）	鈴木 和也 様
---------------------------------	---------

研究に携わった教職員

【令和4年度】

校長 田中 誠	教頭 田口 寛人	主幹教諭 高田 弘子	
隅田 菜月	高野 正	太田 啓輔	鈴木 美弥子
篠崎 節子	大谷 薫	道畑 直樹	星野 夏紀
木村 大吾	飯島 徹	山口 真実	根岸 理恵
久野 佳奈	清水 萌絵	千田 好世	中村 和弘
バグロフスキー・マイケル・ジョン	近 武朗		

【令和3年度】

教頭 宮腰 高子	平川 愛美	根岸 瑞恵
佐藤 英恵	大野 陽平	